

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：個人1

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	(p20)「III-1. システム構成」	<p><意見内容></p> <p>本基本仕様では、スマートメーターとコンセントレーター間の通信方式は提示されているが、MDMS とスマートメーター間(もしくは MDMS とコンセントレーター間)の通信仕様が明記されていない。局所的な仕様ではなく、省エネシステム全体を考慮して仕様を明記すべきである。</p>	<p>通信方式については、スマートメーターのユースケースに基づくシステム全体に対する要件を明確にした上で、RFP、技術実証の評価により選定する予定です。</p>
2	(p29)「III-3. 通信ユニット概要」	<p><意見内容></p> <p>相互接続性について「異なるメーカー間の相互接続性を確保」と記載されている。これを実現するためには、相互接続性を確保するための基準を策定し、客観的に審査する仕組みを確立すべきである。</p> <p><理由></p> <p>各開発メーカーの通信仕様解釈の違いなどによって相互接続性が確保されないことが想定される。たとえば3GPP や ETSI などの標準化団体の取り組みの中でも相互接続性は重視されており、コンFORMANCE試験仕様、インターオペラビリティ試験仕様などを策定して規格化している。スマートメーターの通信仕様についても同様の取り組みが必要だと考える。</p>	<p>ご意見の通り、相互接続性を確保するための仕組み作りは重要と考えておりますので、通信方式の選定と合わせて検討して参ります。</p>

3	(p18)「(参考)通信方式適用の考え方」	<p><意見内容></p> <p>欄外に「スマートメーター毎に事業者サービスの通信費用が不要なため、ランニングコストの面でも有利」と記述があるが、通信事業者の回線は利用しないということか。通信事業者の回線を利用できる仕様にすべきである。</p> <p><理由></p> <p>日本はブロードバンド回線の普及率が高く、特に光アクセス回線が広く利用できるようになっている。これらを利用すれば新たな独自インフラ網を構築するよりも初期コストを削減することができると思う。</p>	<p>通信ネットワークの構築については、求められる機能・要件を十分に吟味した上で、通信事業者の既存インフラやサービスの利用も含め、極力低コストで実現することを目指します。</p> <p>具体的には、今後、通信事業者に対して具体的な条件を提示した上でのRFPを行い、要件を満足する提案を比較検討し、トータルコストが最小となるよう、適材適所で適用する通信方式を選定します。</p>
---	-----------------------	---	--